

[社会福祉学科 社会福祉専攻] (令和8年度入学生)

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」「健康とスポーツ」の各群からそれぞれ1科目以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から1科目以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ（入門編）」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない(19単位)。選択科目については、34単位または59単位(保育士資格取得者の場合)以上を履修する。合わせて、53単位または78単位(保育士資格取得者の場合)以上となる。

3 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

4 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科(他専攻)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。(社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。)

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

5 社会福祉主事任用資格取得方法

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることにより、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の授業科目欄を参照すること。

6 社会福祉士国家試験受験資格の取得科目

社会福祉士国家試験受験資格の取得には、本学科に2年以上在学して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の社会福祉士指定科目欄に従い履修し、卒業した後、指定された職種に就き2年以上の実務経験を経なければならない。もしくは、他の4年制大学に編入し卒業した後国家試験に合格することによって、取得可能となる。

7 保育士資格等の取得方法

保育士資格の取得には、本専攻に2年以上在籍して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の保育士資格欄に従い履修し、卒業しなければならない。なお、本専攻は社会福祉士国家試験受験資格指定科目の履修を基本理念としているので、ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳを履修することが望ましい。

[社会福祉学科 社会福祉専攻] (令和7年度以前の入学生)

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」「健康とスポーツ」の各群からそれぞれ1科目以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から1科目以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ(入門編)」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない(17単位)。選択科目については、36単位または61単位(保育士資格取得者の場合)以上を履修する。合わせて、53単位または78単位(保育士資格取得者の場合)以上となる。

3 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

4 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科(他専攻)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。(社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。)

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

5 社会福祉主事任用資格取得方法

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることにより、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の授業科目欄を参照すること。

6 社会福祉士国家試験受験資格の取得科目

社会福祉士国家試験受験資格の取得には、本学科に2年以上在学して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の社会福祉士指定科目欄に従い履修し、卒業した後、指定された職種に就き2年以上の実務経験を経なければならない。もしくは、他の4年制大学に編入し卒業した後国家試験に合格することによって、取得可能となる。

7 保育士資格等の取得方法

保育士資格の取得には、本専攻に2年以上在籍して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の保育士資格欄に従い履修し、卒業しなければならない。なお、本専攻は社会福祉士国家試験受験資格指定科目の履修を基本理念としているので、ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳを履修することが望ましい。

別表 「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の選択科目のうち、
保育士資格及び社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目表

① 保育士資格取得に必要な授業科目

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
発達と教育	2	保育内容の理解と方法Ⅰ(身体)	1
健康科学論	1	乳児保育Ⅰ	2
体育実技	1	乳児保育Ⅱ	1
子ども家庭福祉	2	子どもの健康と安全	1
社会福祉原論Ⅰ	2	障がい児保育Ⅰ	1
社会福祉原論Ⅱ	2	障がい児保育Ⅱ	1
保育原理	2	社会的養護Ⅱ	1
子ども家庭支援論	2	子育て支援	1
社会的養護Ⅰ	2	保育実習Ⅰ	4
保育者論	2	保育実習指導Ⅰ	2
保育の心理学	2	保育実践演習・卒業研究	2
子ども家庭支援の心理学	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2
子どもの理解と援助	1	ソーシャルワーク論Ⅱ	2
子どもの保健	2	介護福祉論	2
子どもの食と栄養	2	医学一般(基礎)	2
教育課程・保育計画論	2	臨床心理学	2
保育内容総論	1	障がいとコミュニケーション技法	1
保育内容指導法(健康)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(言葉)	1
保育内容指導法(人間関係)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(音楽)	1
保育内容指導法(環境)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(造形)	1
保育内容指導法(言葉)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(身体)	1
保育内容指導法(表現)	4	保育実習Ⅱ	2
保育内容の理解と方法Ⅰ(言葉)	1	保育実習指導Ⅱ	1
保育内容の理解と方法Ⅰ(音楽)	1	保育実習Ⅲ	2
保育内容の理解と方法Ⅰ(造形)	1	保育実習指導Ⅲ	1

6
単
位
以
上
履
修

Ⅱ、Ⅲ
の
い
ず
れ
か
を
履
修

② 社会福祉士国家試験受験資格指定科目表

(参考)指定科目等の名称	授業科目名	単位数	備考
医学概論	医学一般（基礎）	2	
心理学と心理的支援	人間の心理	2	
社会学と社会システム	現代社会学	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論Ⅰ	2	
	社会福祉原論Ⅱ	2	
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワーク論Ⅳ	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	1	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
高齢者福祉	老人福祉論	2	
障害者福祉	障害者福祉論	2	
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉	2	
貧困に対する支援	公的扶助論	2	
保健医療と福祉	医療福祉システム論	1	
権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	1	
刑事司法と福祉	司法福祉	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導	3	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習	5	